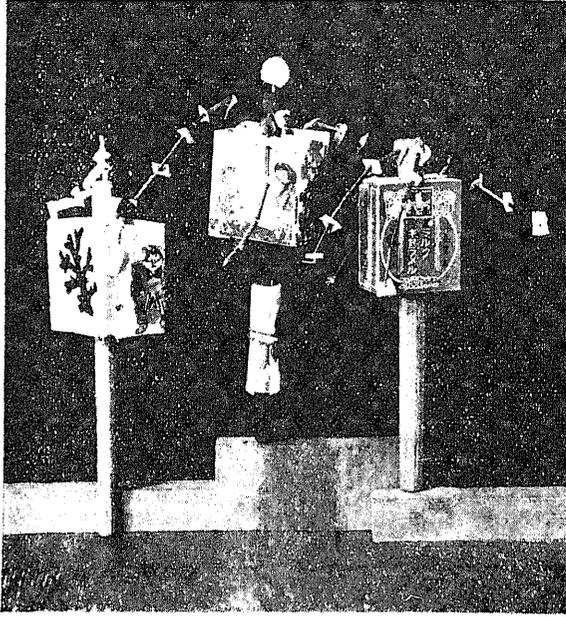


フレーベル賞入選手技



一等

萬燈

岸邊幼稚園 荒磯壽子

材料

キヤラメル空箱(小)二個 きびがら一本(一八糶)、元結
二〇糶二本、他に色の違ふきびがら、色紙、むぎわら、
畫用紙、ひご等少々

作り方

キヤラメルの外箱二個を貼り合せ、箱の大きさに合せた
畫用紙に繪を畫き箱の周りに粘る。次にきびがらを縦に
眞二ツに割り、端から二糶の所から箱の縦の長さだけ、
きびがらの割つた面を少しけづる。(これは貼り合せた

箱の紙の厚さだけ、きびがらをへこますわけ。

そこへ箱を挟み糊できびがらを粘り合せる。

次にきびがらの端から一糎下つた所へ四方に針で穴をあけ長さ二〇糎の元結を通し、兩端を一〇糎づゝ垂す。(都合一〇糎の元結が四方に垂れる)

二等

粘土おしゑ

材料

- 1、粘土
 - 2、空箱(浅きもの或ひは箱の蓋)
 - 3、石ころ 青竹 貝殻 木の葉 その他種々
- 製作の方法

適當な大きさのボール箱の蓋なごに粘土をなるべくかたく平につめる。その上に、石ころその他の材料で色々な繪を置き、位置の定まつたところで粘土の中に押し又はおさへつけて密著させる。そのまゝかげ干しにして乾燥

色紙を小さく切り、穴をあけた物をむぎわら(長さ一糎一・五位)交互に今の元結に通し下を止める。色の違つたむぎわらを輪切りにして、ひご(三糎)にて柄のきびがらの頭にさす。

神奈川縣大磯幼稚園

K

S

させる。ボール箱は粘土の水分を吸収して自然に形がくづれるから、その時にそつこ取りのぞく。はじめボール箱ならその一部をさき取り針金をまげてはめこんで置けば乾燥後それを柱等に掛けるこゝが出来る。

子供への與へ方

先生がいくつかこしらへて置いたものを見せる。心掛けて用意して置いた箱に粘土をつめさせる。石ころ、青竹(これは五糎、三糎、一糎)種々の長さに切り、細く割り